

第2回鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議 議事録

件 名	第2回 鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議
日 時	平成24年11月5日 13時30分～14時30分
場 所	市役所東別館11階 1101会議室
出席者	鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議委員 10名（4名欠席）
会 次 第	1. 開 会 2. 検討事項 ・ 軌道整備に関する整理について ・ 交通処理の面からの路線の整理について 3. その他 4. 閉 会
主な意見等	【主な意見】 （○委員、●事務局） ○道路の混雑度については経験的には1.5を下回ればいいと思う。多少混雑するにしても渋滞まではいかない。一方、交差点需要率に関しては、0.9を超えると交通に支障が出ると考える。県内では武町交差点、建部神社前が例として挙げられる。 ○総体として、東西方向の交通は道路の容量に比較的余裕があると思うが、南北方向（南北ふ頭線を除く）については、本港区線（ドルフィンポート前）や県道鹿児島停車場線に負荷をかけないような計画にしたほうがよい。 ○本港区についてはオープンスペースが多いので軌道整備は車道にこだわらず、駐車場や緑地などの活用を考えてもいいのではないかと。 ●交通処理の面から検討を行い、自動車交通への負荷が大きい区間については、歩道敷等の活用についても検討していきたい。 ○将来国道10号北バイパスが完成すると、南北方向の交通はかなりウォーターフロント地区にシフトしてくると思う。一方、路面電車は、通常は生活道路を運行することが想定されているので、幹線道路に軌道を導入することについてはよく考える必要がある。 ●幹線道路と生活道路の役割、歩道や民有地の活用等の指摘を踏まえて検討していきたい。 ○軌道の配置をサイドリザベーション（片寄せ）にした場合、単線での折り返し運行になると自動車の向きと電車の向きが逆方向になるケースも考えられるのではないかと。 ●単線での折り返し運行の場合、自動車の向きと電車の向きが異なる場合があることから、軌道線と車線を構造的に分離する方法について関係機関と協議を行っていきたい。

